

「食べる力」をチェックしてみませんか

7月13日（木）説明会開催

15：00～16：00

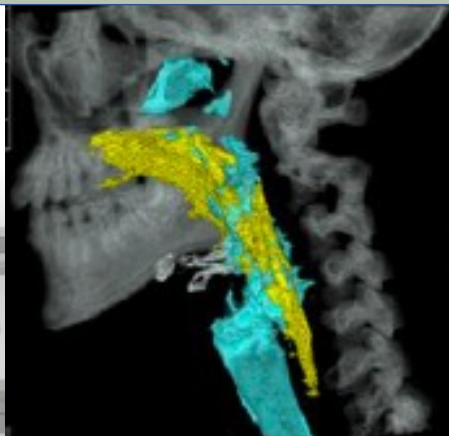
場所：談話スペースB



「食べる力」（摂食嚥下機能）は年を重ねるとともに少しずつ変化します。国立長寿医療研究センターでは、新しい検査方法（嚥下CT）を用いて、口や喉の動きを詳しく見ることにより「食べる力」の加齢のしくみを調べる研究を行っています。



＜嚥下CTとは？＞ CT (Computed Tomography) 検査は、X線を利用して身体の内部を画像に表すもので、医療現場で広く利用されています。CT装置内に座って飲み込みの様子を撮影すると、口や喉の動きを詳しく観察することができ、これを「嚥下CT」といいます。



X線の被ばくが心配？

→1回につき、**頭部CT**

の1/5程度（約1.1mSv）

と、**十分に安全**です

◀左：嚥下CT撮影の様子

◀右：嚥下CTの画像（3D）

*ご参加をお願いしたい方

- ・年齢20歳以上の方
（対象年齢の上限はありません）
- ・1日3食、普通の食事を食べている方（食べにくい食材を除いている方も可）
- ・撮影用のイスにあがり、背もたれに寄りかかって5分以上座れる方
- ・嚥下障害と関係する病気（脳卒中、口や喉周辺の癌、肺気腫など）のない方

*実施する内容

- ・生活習慣や内服薬に関するアンケートに、事前にご記入いただきます。
- ・当院にお越しいただき、下記を実施します。所要時間はおよそ3時間です。
- ①身体機能（サルコペニア）チェックテスト
- ②口腔機能チェックテスト ※①②は64歳以下の方は行いません。
- ③水を飲んでいただき、その様子を「嚥下CT」で最大5回撮影します。

研究にご参加いただいた方には「食べる力」健康チェックの結果をお渡しするとともに、終了後、QUOカード（3000円分）をお渡しいたします。

「食べる力」をチェックする良い機会です！ぜひお気軽に説明会へお越しください。

（お問合せ先）

国立長寿医療研究センター研究所 健康長寿テクノロジー応用研究室（担当：大高・神谷）
電話：0562-46-2311

E-mail：eotaka@ncgg.go.jp